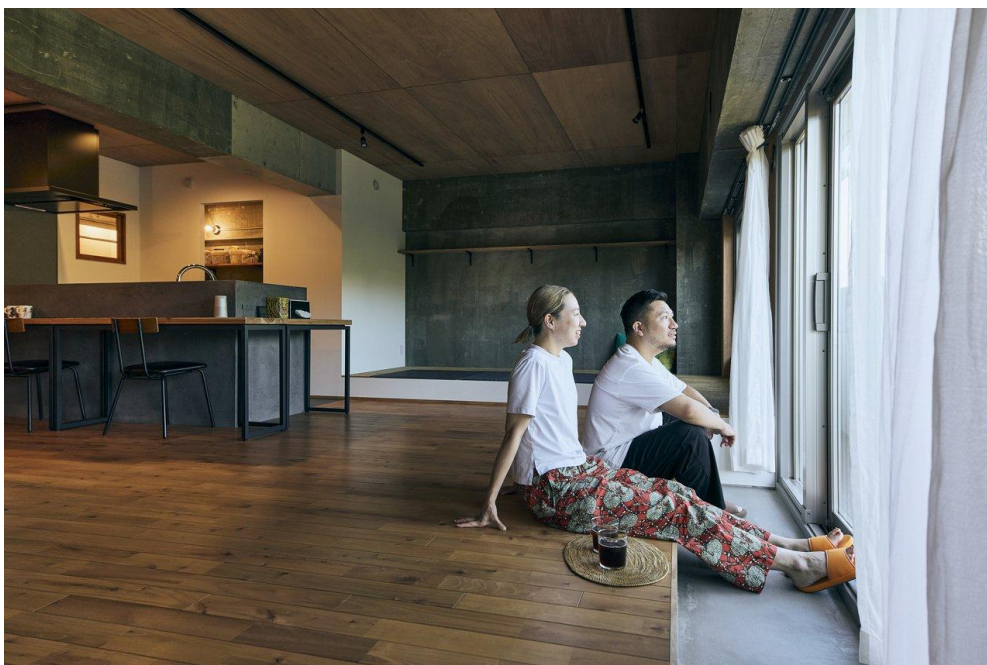


報道関係者各位

都市部で高品質リノベーションを提供するグローバルベース、
2025年リノベーション事例人気ランキング TOP3 を発表！
～キーワードは「ジャパニディスティール」「ウォームラグジュアリー」～

Daigas グループのグローバルベース株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:寺田 隆、以下「グローバルベース」)は、当社ホームページに掲載しているリノベーション事例集の中で、2025 年にアクセスが多かった事例 TOP3 を発表いたします。

2025 年は、自然素材を使った「ジャパニディスティール」や、ぬくもりを感じる色合いと同色の木素材をアクセントに取り入れる「ウォームラグジュアリー」の事例が上位にあがるランキングとなりました。



■2025年リノベーション人気事例ランキング TOP3

●第1位『造作家具で二人らしく。コーヒーが似合う家』
造作した特注家具や意匠性の高い素材を多く使い、メリハリを意識したリノベーションです。天井にはラワン合板を貼った大胆なデザイン。

リビングを見渡せるオープンキッチンは機能性も重視し、2度洗い不要な強力な食洗機を設置しました。キッチンの天板の高さは背が高い施主様が作業しやすい高さを選択し、オープンキッチンにしたことで家事をしながらお子様の様子を見ることもできます。また、屋久杉の木を使い造作した可動式テーブルは、写真のようにカウンターとしてだけでなくダイニングテーブルとしても活用できます。コーヒー好きなご夫妻らしく、パントリーにはコーヒーマシンや集めたコーヒーカップが



【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

グローバルベース株式会社 担当：井上／植田

TEL：03-6416-4491／080-7930-9521 E-mail：pr@globalbase.jp

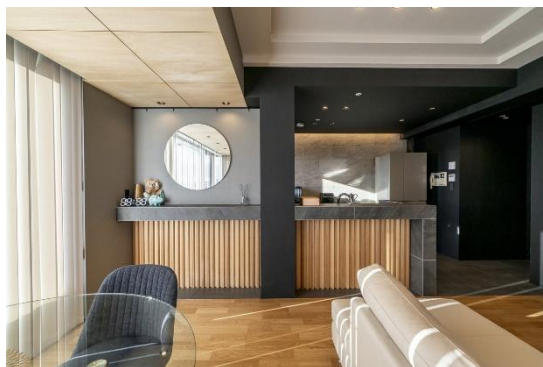
綺麗に並べられています。

インナーバルコニーの土間スペースの窓は公園の緑が借景となり、コーヒーやお酒を飲む時間が日々の息抜きになる素敵な空間になりました。

<https://www.globalbase.jp/case/detail.php?jid=199>

●第2位『ラグジュアリーモダン×和、ホテルライクな暮らし』

中古マンションだからこそ手に入れた、十分な広さと大きなルーフバルコニーを備えた物件をホテルライクにリノベーションした事例。生活動線の良い3LDKの間取りや折り上げ天井など既存の部分も活かしながら、リノベーションにより内装デザインを一新。キッチンの背面には和モダンなホテルをイメージした木の縦格子をあしらい、ひとつの家具のような存在感を出しています。さらに、玄関や廊下、洗面室、キッチンの天井や壁は、グレーのタイルや黒のクロスを締め色として採用し、明暗のメリハリある空間に仕上げました。



<https://www.globalbase.jp/case/detail.php?jid=207>

●第3位『自然の手触り感がある家』

砂や土、木の質感などを壁や床に取り入れ、手触り感のある素材を使った住まいです。部屋数を重視した 3LDK から、広いリビングと土間、収納スペースがあるメリハリある間取りに生まれ変わりました。

塗り壁の凹凸が陰影をつくり、味わいとやすらぎの空間を演出します。そこに洗練された北欧家具と、施主様の地元・沖縄を感じる色味をミックスし、自分たちの好きが詰まった空間の魅力が生まれ、より愛着が湧く住まいとなりました。



<https://www.globalbase.jp/case/detail.php?jid=220>

[画像ダウンロード:<https://dtbn.jp/lYBgXlse>]

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

グローバルベース株式会社 担当：井上／植田

TEL：03-6416-4491／080-7930-9521 E-mail：pr@globalbase.jp

以下、解説 グローバルベイス株式会社 オーダーリノベーション『マイリノ』設計担当 長谷川 洋子

■2025年お客様のトレンド傾向「ジャパニスタイル」「ウォームラグジュアリー」

今年は日本らしい自然素材を使った設計に、北欧の温かみのあるスタイルを融合させた「ジャパニスタイル」が特に人気を集めました。グレージュをはじめとした優しい色合いに、同色のリブをアクセントとして取り入れたいというご要望が多く見られました。それ以外のお客様の場合でも「ウォームラグジュアリー」をキーワードとした自然のぬくもりを感じられる癒しの空間が求められたように感じます。



■今後求められるリノベーション「落ち着いたカラー」「ツートンカラーキッチン」

今後も引き続き、グレージュを中心とした落ち着いたカラーが主流になると予測します。

グレーやベージュをベースカラーに、深みのあるグリーンやブラウンを差し色として加える手法は国際見本市でもトレンドとして注目されています。

また、キッチンエリアでは、カップボードとキッチン本体の色をあえて変えるツートンカラーのコーディネートが新しいトレンドとして広がっていくのではないのでしょうか。ツートンカラーは色の配色次第で印象の違う空間を作ることができ、リノベーションの可能性もより広げることができます。



■グローバルベイス リノベーション事例人気ランキングとは

毎年1月～12月の間で、グローバルベイスのホームページに掲載している「リノベーション事例集」の中から、アクセスが多かった事例 TOP3を発表する、グローバルベイス独自のランキングです。中古マンションリノベーションの物件調達・設計・施工・販売を年間400件以上手掛けるグローバルベイスが、1年間を振り返り、リノベーションのトレンドや可能性、面白さをお届けするランキングとなっています。

・リノベーション施工事例ページ <https://www.globalbase.jp/case/>

■グローバルベイス株式会社について

会社名：グローバルベイス株式会社（Daigas グループ）

設立：2002年4月

代表取締役社長：寺田 隆

資本金：9,500万円

本社所在地：東京都渋谷区桜丘町 3-2 渋谷サクラステージ SAKURA タワー6F

横浜支店所在地：神奈川県横浜市西区北幸 1-11-15 横浜 ST ビル 7F

大阪支店所在地：大阪府大阪市北区曽根崎 1-1-2 JRWD 梅新 1F

ホームページ：<https://www.globalbase.jp/>

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

グローバルベイス株式会社 担当：井上／植田

TEL：03-6416-4491／080-7930-9521 E-mail：pr@globalbase.jp